

北九州市公共事業評価に関する検討会議及び 市民意見を踏まえた市の対応方針

事業名	小池特別支援学校整備事業
-----	--------------

北九州市
令和元年6月

公共事業評価に関する検討会議及び市民意見を踏まえた市の対応方針
(対象事業：小池特別支援学校整備事業)

【対応方針】

計画どおり実施

【対応方針決定の理由】

全国の特別支援学校の在籍者数は平成19年度比1.3倍で増加傾向にある。本市も同様に特別支援学校の在籍者数は平成19年度比1.3倍、特別支援学級の在籍者数は同3.5倍、また就学相談の申込者数は同2倍に増加しており、特別支援学校等の教室不足や施設の狭あい化などへの対応が喫緊の課題となっている。

このような状況を受け、本市では、平成28年度に、知的障害及び病弱（心身症等）を対象とした門司総合特別支援学校と、肢体不自由及び病弱（慢性疾患等）を対象とした小倉総合特別支援学校をそれぞれ開校し、本市東部地域における教育環境の改善を図る取り組みを進めている。

一方、西部地域の特別支援学校においても、同様の課題が生じており、これまで以上の児童生徒数を受け入れることは困難な状況となっていることから、同地域内の施設整備に早急に取り組む必要がある。とりわけ同地域内にある小池特別支援学校（知的障害）は、児童生徒の増加が著しく、特別教室の普通教室への転用やプレハブ教室の増築等を行い教室不足に対応してきたが、これ以上増築場所を確保することは困難であることに加え、施設の老朽化も進行している状況である。

隣接する市有地を活用した小池特別支援学校の現地建て替えは、適切な教育環境の確保や狭あいの解消などの課題解決が図れるとともに、高等部の就労支援の拡充及び機能強化も図れること、さらに、西部地域にある八幡特別支援学校の児童生徒数を整備後の小池特別支援学校に取り入れ、西部地域全体における過密化が一部解消される等、一定の改善が図れることが期待される。

以上のことから、計画どおり小池特別支援学校の整備を実施することを対応方針として決定した。

今回の公共事業評価に関する検討会議では、本事業を計画どおり進めていくことについて、出席したすべての構成員が「異論はない」との意見であった。ただし、具体的な事業の進行にあたって、留意すべき点が意見として挙げられた。

続いて、これらの留意点を踏まえた市の対応方針案について市民意見を募集したところ、本事業を計画どおり進めていくことについて反対する意見はなかったことから、本事業は「計画どおり実施」するものとする。

なお、検討会議で挙げられた留意点としての意見や、市民からの意見も踏まえた上で対応する。

○公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応

資料2：「公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応」のとおり

○市民意見の概要とその対応

資料3：「提出された意見の概要及びこれに対する本市の考え方」のとおり

公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応
(対象事業：小池特別支援学校整備事業)

	公共事業評価に関する 検討会議での意見	市の対応方針（案）
(1) 事業の必要性に ついて	<p>施設の老朽化、狭あい化は著しい。特に、プレハブ教室は教育環境上、決して良好なものとは言えないため、早急に改善する必要がある。</p> <p>今回の改築に伴い、西部地域の通学区域を見直すことで、西部地域全体の、ひいては北九州市全体の児童生徒数増加の問題に対応して欲しい。</p>	<p>当事業では、児童生徒数の将来的傾向を踏まえた普通教室や作業教室の増設等を計画し、これにより小池特別支援学校施設の狭あい化を解消し、適切な教育環境の確保及び教育活動の充実を図ることとしている。</p> <p>また、西部地域全体の児童生徒増加に対応するため、同じ西部地域にある八幡特別支援学校の通学地域を変更し、一部の児童生徒を改築後の当校に取り込むことで八幡特別支援学校の過密化を一部解消し、同地域全体でも一定の改善を見込んでいる。</p>
(2) 適正な職場環境 の確保について	<p>教職員の職場環境を充実させること。</p> <p>児童生徒数の増加に伴い、教職員数の増加も見込まれる中で、執務空間は現状でも著しく狭い。職場環境を整えることが質の高い教育につながる。</p>	<p>将来の児童生徒数の増加に応じた教職員の適正配置のもと、関係法令の基準に沿った適切な規模の職員室や職員休憩室、更衣室等を整備するほか、教育相談室を新設し、教職員の労働環境の向上を図ることとする。</p>
(3) 教育環境の保 全、安全対策に ついて	<p>現地建て替え（ローリング計画）による整備を行う上で、通学する児童の特性に配慮し、騒音、振動、工事車両等に対処すること。</p> <p>特に、安全対策については確実に対応すること。</p>	<p>工事施工区域を2mの鋼板等で囲うことで、工事期間中における学校内の安全を確保する。</p> <p>また、前面道路からの大型車両等の通行には、安全監視員を配置するなど、通学時の児童生徒や周辺住民の安全・騒音対策を十分講じて整備を進めていく。</p>

<p>(4) 財政負担の要望 について</p>	<p>県に対しては、特別支援学校設置の関連法令に鑑み、引き続き、財政負担について要望すること。</p>	<p>本市では、県による設置が義務化される以前から特別支援学校を設置してきた経緯があり、また、「北九州市特別支援教育推進プラン」等において、市として施設・設備の面も含めた特別支援教育の推進体制の充実に取り組むことを方針としている。今回の整備も、この方針に基づき市の施策として取り組むものである。</p> <p>設置義務のある県に対しては、財政負担について本市・福岡市・久留米市・大牟田市の4市合同で要望を行っており、引き続き強く要望を行うこととしたい。</p>
<p>(5) 地域交流拠点としての施設整備 について</p>	<p>地域交流、地域コミュニケーションの拠点としてのスペースを確保すること。</p> <p>地域社会と交流することで、就労を目指す児童生徒のスキルアップにもつながるのではないかと考えている。</p>	<p>改築後は、学校教育に支障のない範囲で体育館等の施設を周辺住民等に開放し、地域住民の健康づくりや交流の場、障害者スポーツ団体等の活動拠点等の場を提供できるよう施設の活用を図っていく。</p> <p>また、作業教室内に「地域交流室」を整備し、生徒の接客技能の向上を目的とした「カフェ」の定期開催等を実施する。その他、児童生徒による生産品販売や美術作品等の展示ができる「地域交流ホール」でのイベント等を通じて地域住民との交流を図ることとしている。</p> <p>地域の方々と交流することで、就労を目指す生徒のスキルアップを図るとともに、障害者理解の啓発の効果も期待できると考えている。</p>

提出された市民意見の概要及びこれに対する本市の考え方
(対象事業:小池特別支援学校整備事業)

以下に市民意見の概要および意見に対する市の考え方を次のとおり公表します。
なお、意見は一部集約して掲載しています。

1 事業の必要性に関するもの・・・2件

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
現在でも教室数が足りず、特別教室を普通教室として使用するなどで対応しており教育環境が悪化している。早期の整備をお願いしたい。	出来るだけ早期に整備するよう事業の推進に努めます。	当初計画に反映済み
小池学園も移転改築したので、小池特別支援学校の早期の整備を要望する。		

2 整備内容に関するもの・・・10件

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
現校舎の廊下は狭く、車いすがすれ違うこともできないので広くして欲しい。また、エレベーターがないので、車いす等の身障者対応のエレベーターが欲しい。	廊下2m幅を3m幅にし、車いすの方がどの階にも移動できるエレベーターを設置するなど、施設全体をバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化した施設とします。	当初計画に反映済み
現在、運動場が狭く、小中高等部が一緒に運動会を実施するのは困難である。できるだけ広い運動場の整備を希望する。	限られた敷地面積の中で、できるだけ広い運動場が配置できるよう整備をします。	
昼休みに利用でき、テーブル等がある図書室を作って欲しい。	新設する図書室では、本の貸出・返却スペースや、専用机で本の閲覧が可能な施設整備を行います。	
現在、スクールバス乗降場所に屋根がないため、雨天時は傘をさして通学している。門司総合特別支援学校のようなバスターミナルを設置してほしい。	雨天時に児童生徒が濡れないようバスターミナルに屋根を設置します。また、バス乗降時に安全かつ円滑に移動できるスペースや昇降口との導線を考量したエントランスを計画します。	

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
<p>放課後デイサービスの送迎車が、数十台学校に入ってくる。子ども達が安全に乗り降りできるような広さの駐車スペースや雨除け屋根があるといい。</p>	<p>放課後デイサービスの送迎車に、児童生徒が安心して乗車できるよう、昇降口と駐車スペースとの安全な導線を確保します。雨天時は、バスターミナル内で乗降するなどの対応を行います。</p>	<p>当初計画に反映済み</p>
<p>昇降口のところにも、クールダウンできるスペースを設けて欲しい。(朝、下駄箱で駄々をこねたり、パニックになる生徒をよく見かけるため。)</p>	<p>昇降口付近にフリースペースとして地域交流等ができるスペースを設けます。ご指摘の登下校時のクールダウン用のスペースとしても使用できます。通常時は、バスの待ち合い、校外授業出発の待機場所等として利用します。</p>	
<p>不審者対策として校門や玄関などに防犯カメラを設置してください。</p>	<p>不審者が容易に校内に侵入出来ないよう、また、児童生徒の安全な学習環境を確保できるよう、見守りカメラやフェンス等を設置するなど必要な対策を行います。また、事務室を1階エントランス側に配置し、不審者の侵入防止に努めます。</p>	
<p>小池学園の入所者の大半が小池特別支援学校に通学しているので、雨よけの屋根や専用通学路があるとよい。</p>	<p>小池学園からの通学路は、学校の昇降口となるべく最短の経路で配置し、一部庇を設けます。また、駐車場の車が通学路に侵入しないよう安全面にも十分配慮します。</p>	
<p>トイレが少ないので、新校舎ではできるだけ多く設置してほしい。また、明るく清潔なものがよい。</p>	<p>障害の状態や特性等を考慮し、複数箇所にゆとりをもって設置します。また、各階に多目的トイレを新設します。</p>	
<p>今のプールは小さすぎて、高等部の生徒には可哀そうである。今より大きなプールを設置してほしい。</p>	<p>様々な年代や障害の状態に対応できるよう、25mプールや水深の浅いプールを設置します。</p>	

3 工事に関すること…2件

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
<p>整備スケジュールでは、建築工事が解体工事を含めて4か年程度かかるようである。特に配慮が必要な子ども達なので、工事期間中は、工事現場が見えない、十分な騒音対策、通学路の安全確保など、万全の対応をお願いしたい。</p>	<p>工事施工区域を2mの鋼板等で囲うことで、工事期間中における学校内の安全を確保します。</p> <p>また、前面道路からの大型車両等の通行には、安全監視員を配置するなど、通学時の児童生徒や周辺住民の安全・騒音対策を十分講じて整備を進めていきます。</p>	<p>当初計画に反映済み</p>
<p>高等部の生徒は、公共のバス等で通学している。工事期間中、工事車両との接触事故や、生徒が工事エリアに侵入するなどの危険があるので注意して欲しい。</p>		

4 児童生徒への配慮について…1件

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
<p>工事期間中は、騒音等で生徒の心のケアが必要になるので対応して欲しい。</p>	<p>施工業者や学校と十分協議し、細心の注意を払い、児童生徒への対応を行います。</p>	<p>当初計画に反映済み</p>

5 その他の意見…1件

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
<p>学校現場の声、PTA、地域住民等の意見を聞き、それらを参考にした学校にして頂きたい。</p>	<p>今後も関係者の意見を幅広く伺いながら整備を進めていきます。</p>	<p>当初計画に反映済み</p>